



発行／特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1 豊橋商工会議所内

Tel 080-6923-5257 URL <http://www.asakuragawa.net>

Fax 0532-53-7210 E-mail hotaru@asakuragawa.net

明けましておめでとうございます

今年の干支である「酉年」の酉という言葉には「果実が極限まで熟した状態」という意味があるそうで、物事が頂点まで極まるとかという意味も含め運氣の高まりを期待される方も多いのではと思います。

私たち、朝倉川育水フォーラムも昨年「朝倉川流域ビジョン2015」を発表し、それぞれの目標に向かって実践の年…でもあります。

そのような中、環境保全に関わる活動をしてると「自然」という人間社会とは離れたところにいるように見えるにも関わらず、「物事の考え方…」や「文化」「人間社会」ということと切っても切り離せないことであるという実感が湧いてきます。

これは、「科学」という言葉では言い尽くすことの出来ない「自然という不確実さ」を実感せざるを得ないからなのでは思うことがあります。

近年では、様々なメディアで「科学的に証明された…」とか、「…のはずだ。」という言葉が飛び交い、また、それに対する反論をしあうことで社会の疲れが見えている気さえします。

科学の分野で第一線と呼ばれている方々ほど、「わからないことが沢山あることを理解している。」という印象があります。私たちが自然を愛し、自然に接することの意義の一つとして、「不確実性を受け入れる」という意味があるのかも知れせん。

今年は、そんな視点で「自然を愛でる…」ことを一緒にしてみませんか…

本年も、朝倉川育水フォーラムの活動に御支援、ご指導よろしくお願い申し上げます。



<2016年朝倉川へのメッセージ最優秀作品>

第14回

植樹メンテナンス大会開催

平成28年11月12日(土)第14回の朝倉川植樹メンテナンス大会が開催されました。秋晴れの黄葉の中楽しく作業を行いました。



見た目にはそれほど茂っているように見えなかった木々も、切り始めると意外に枝が多くやりがいのある作業になりました。

参加団体は24団体、370名でした。枝2,520kg、ごみの量2tでした。今年初参加のリコージャパンさんは名古屋から来ていただきました。

植樹メンテナンスを行う区間は多米小学校の通学路で市民のみなさんの憩いの散歩コースになっています。これからも気持ち良く歩けるようメンテナンスをしていきましょう。

2016年活動日誌

4/2 ビオトープ作業初め

新年度初めての作業。ビオトープには今年もたくさんのかえるの卵。若い人たちの参加で生き物にも人にも居心地のいい場所になっていきます。駐車スペースもあるので効率が良くなりました。作業は毎月第1土曜日



4/9 第20回朝倉川530大会

桜や菜の花が咲き誇る暖かい日、67団体、2100人が参加されました。ごみの量は1.8tでした。身近なエコの第1歩。ごみや川の環境、自然のことを考えるきっかけに。朝倉川へのメッセージもたくさん頂きました。

4/22、7/22、11/25 森の幼稚園

浜松で活動している「みやこだ自然学校」さんが豊橋での活動の場所にビオトープを使っていただきました。未就園児の親子が参加されました。おたまじゃくしを見たり、未来の森で遊んだりしました。



6/4 総会・ほたる観察会

第1部の総会は「ここにこ」の2階で行われました。議案が審議可決されました。その後530大会への10回以上参加団体への感謝状、永年活動参加感謝状、パートナーシップ感謝状、朝倉川へのメッセージ優秀作品を表彰。

6/11 田植え

ことしもビオトープの田植えをしました。最初のうちは恐るおそるだった子どもたちも終わった時には、全身泥まみれ。おとなも今年こそイノシシにやられないように、田んぼの周りに網をはり巡らしました。



6/12、7/10、9/25 ビオトープ自然環境調査

三河生物同好会さんは、ビオトープが出来た時から注目し、調査を継続して実施されています。今回は一般に呼びかけて、観察会も行われました。2017年3月26日には向山文化会館でパネル展示と報告会があります。

7/3 ねこのて

「森の幼稚園」よりちょっと大きい子どもと親子の「ねこのて」さんのグループです。サワガニや魚もいる森の川遊びは大好評。炉でバームクーヘンを焼いたり、日頃出来ない遊びに挑戦です。



「朝倉川流域ビジョン2015」

「朝倉川とともに…子どもたちの体験を持続可能なチカラに。朝倉川流域ビジョン2015」を作成しました。朝倉川の再生を実現する指針として、2005年に策定した「朝倉川流域ビジョン」から10年。市民のみなさまの努力で随分きれいな川になり、ホタルの飛翔もみられるようになりました。新たな視点から、持続可能な地域実現のために4つのアクションプランを提言しました。

環境DNAって知っていますか？

理事長 高橋 豊彦

魚や昆虫等の水生生物を調べることは、その場所の生態系も含めあらゆる環境評価をしていくうえで重要なことです。私どもも、平成 14 年から「朝倉川河川調査」として、水質や指標生物の採集を行っています。

このように、指標生物の採集を行っている中で、「最近、ドジョウを見かけなくなった…」とか「ニホンウナギは、前よりも見かけるようになった…」という、印象を持つことがあります。そんな中、「しばらく見なかったのになくなったと思ったら、久しぶりに採集した…」という種も実は沢山あります。よくよく考えてみれば、いなくなった生物が急に何処からか湧いて出てくるということは考えにくく、「たまたま、調査時には採集できなかった。」というのが、本当のところなんだろう…という思いもあります。

そのような、生態系を調べていく中で、「劇的な変化をもたらすかもしれない」方法が、環境 DNA と呼ばれるものです。あらゆる生物は、成長の過程で自分自身の皮膚辺などの身体の一部がはがれおちたりします。その時、はがれおちて水中に浮遊した細胞の一部を DNA レベルで特定できれば、「その水系には、…がいる。」という考え方なのだそうです。まだまだ、課題もあると思いますが捕獲や確認しにくい生物種を確認していくのには有効な手法として、期待も大きいそうです。

ひょっとすると、レッドデータブックがこの技術によって書き変わるなんてこともあるかもしれませんね…

*活動日誌つづき…

7/24 朝倉川探検隊

絶好の川あそび日より、たくさんの親子の参加がありました。大人も子どもも手に手に網を持って、ガサガサ。いっぱい魚や昆虫を捕まえ、水槽に入れて名前を覚えてもらいました。



9/3 ローターアクトさん協働

恒例になったローターアクトさんとの協働。水路の整備やツリーハウスづくりに汗を流しました。終了後は、お楽しみ、野外料理。ダッチオーブンで作ったカレーにローストビーフ、スモークの豪華版。

9/12 東田小学校

「川ガキ」体験と水質調査。最初は緊張して水に入っていた子どもたちもすぐに「川ガキ」発揮。このような経験を通して、川に目を向けてくれる人たちが増えるといいですね。



11/1 嵩山小ホタル放流

4年生が学校の前の川で捕獲したホタルに卵を産ませ、飼育してきた幼虫 800 匹を嵩山川に放流しました。毎年乱舞が見られる地域ですが、夏には美しい光で子どもたちと再会するでしょう。



9/24 フィールドマッチングツアー

フォーラムの活動や実際に朝倉川の生き物つかまえて多様な生き物を見て頂きました。

ビオトープ春秋

<ホタル舞うビオトープづくり>



<人力頼りのビオトープ整備>



巨大な貝だよ〜→



<春・田植え>



管理棟では火が使えるのでパームケーキや焼き芋を作ります→



←イノシシ対策もばっちりできた。



←稲刈
→ハザ掛け

↑脱穀 ↓ 粳すり

フルタメで昔の道具を借りて白米作りを体験しました。



ツリーハウスが老朽化し危険になったのでアスレチックに進化。早速出来栄を試す子どもたち。



SNS、facebookのページ
ぜひご覧ください
会費納入のお願い



会費未納の会員様に28年度の会費納入の振込み用紙を同封させていただきました。ご納入をお願い致します。直接事務局までお持ちいただいても結構です。

2017.1 ◆ 朝倉川通信



→全員でもちつき。
杵は重かったよ

* 全てのお申込み・お問い合わせは *

特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1

TEL 080-6923-5257

FAX 0532-53-7210

URL <http://www.asakuragawa.net>

E-mail hotaru@asakuragawa.net